

平成29年度 第3回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨（案）

日 時 平成29年10月16日（月）14:00～16:08
 場 所 管理棟3階 大会議室
 構 成 員 8名（出席者8名）

（幹事会委員）

11号委員（がんセンター長）	増田 昌人
16号委員（沖縄県立中部病院）	朝倉 義崇
16号委員（那覇市立病院）	友利 寛文（代理：足立 源樹）
17号委員（沖縄県立宮古病院）	松村 敏信
17号委員（沖縄県立八重山病院）	松茂良 力
18号委員（北部地区医師会病院）	柴山 順子
21号委員（沖縄県保健医療部）	糸数 公
21号委員（琉球大学医学部総務課長）	金城 邦光

（オブザーバー）

沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班 （陪席者）	荻堂 麻紀子
がんセンター	渡嘉敷 留美
がんセンター	高橋 ユカ
医学部総務課総務第二係	早野 育子
〃	新垣 遼

議事要旨

1. 平成29年度第2回沖縄県がん診療連携協議会幹事会議事要旨(7月10日開催)について

増田議長から資料1に基づき、第2回幹事会議事要旨（平成29年7月10日開催）について、説明及び確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

2. 平成29年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事要旨(8月4日開催)について

増田議長から資料2に基づき、第2回協議会議事要旨（平成29年8月4日開催）について、説明及び確認があった。審議事項2の記載について一部修正することとなった。その他、訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。また、第2回がん診療連携協議会で承認されたモニターすべき指標の確認について、協力依頼があった。

3. 平成29年度第2回沖縄県がん診療連携協議会議事録(8月4日開催)について

増田議長から資料3に基づき、第2回協議会議事録（平成29年8月4日開催）について、説明及び確認があった。訂正等が必要な場合は、事務局へ申し出ることとした。

4. 協議会・幹事会・部会委員一覧について

増田議長から資料4に基づき、前回から委員の変更等はない旨、報告があった。

審議事項

1. 沖縄県第3次がん対策推進計画について

沖縄県保健医療部糸数委員から資料5-1に基づき、沖縄県がん対策推進計画概要について説明が行われた。

増田議長から、席上配布された「資料5-2」に基づき、沖縄県第3次がん対策推進計画（がん政策部会案）について参考資料である旨説明が行われた。

増田議長から、沖縄県がん対策推進協議会およびパブリックコメントについて、また中間評価、最終評価、指標を最終的に沖縄県がん対策推進計画に盛り込むのかということについて質問があり、糸数委員および沖縄県保健医療部健康長寿課がん対策班 荻堂さんから、沖縄県がん対策推

進協議会は、10月23日(月)14:00~16:00 沖縄県医師会館において開催される。沖縄県がん対策推進協議会の冒頭で、本協議会を公開してよいか審議をした上で公開となる。パブリックコメントは、沖縄県がん対策推進協議会から答申を得た後行われる。沖縄県の計画の性質上、細かい施策まで記載することができないが、現状値を把握し、目的値、対策、指標を設け、中間評価および最終評価を行う方向で検討している。また2次計画の中間評価で議論になった、緩和ケアで患者の精神的な負担が減ったかどうかということについて、患者および家族の主観的指標が必要という患者団体の声を受け、それをどのように組み込んでいくか、現在検討している旨、発言があった。

増田議長から、先日のがん政策サミットの研修会において、来年度中に、都道府県がん診療連携拠点病院、地域がん診療連携拠点病院、地域がん診療病院、特定機能病院において、患者調査(家族および遺族については検討中)を行う予定(送付にかかる費用については調整中)であるとの話しがあったので、患者調査を行う際、沖縄県にはぜひ予算化していただき、医療者調査も併せて行っていただきたい旨、発言があった。

松村委員から、資料5-2の2-9 中間アウトカムの指標に記載された「北部、南部、八重山」という表記について質問があり、増田議長から、診療病院である「北部、宮古、八重山」に修正する旨、発言があった。

那覇市立病院 足立氏(16号委員 朝倉委員の代理出席)から、資料5-2の2-9 施策の指標に記載された「2020年100%(3施設)」という表記について質問があり、増田議長から、地域医療構想検討委員会において、放射線治療は2次医療圏毎に完結するものからは外れていて、2次医療圏を越えて集約すべき治療法に入っているため、放射線治療は2-9には含まれない。北部、宮古、八重山において完結すべきは、大きくは手術療法と薬物療法のみとなる。北部、宮古、八重山の患者が沖縄本島で手術することを制限するのではなく、沖縄県で多い上位10がん種について、北部、宮古、八重山の患者がそれぞれの地域で手術を受けることができるよう準備し、情報提供し、患者に選択してもらうということである旨、発言があった。

また増田議長から、沖縄県の資料については、沖縄県がん対策推進協議会(10月23日開催)にて公開されるので、可能な方は沖縄県がん対策推進協議会を傍聴していただきたい旨、発言があった。

2. 「2015年症例院内がん登録集計報告書」の内容の改訂について

増田議長から、資料6に基づき、2015年症例報告書について県内の医療機関に協力依頼することの説明があった。併せて、2014年症例集計報告書との変更点等について、琉球大学医学部附属病院がんセンターの高橋さんから補足説明があった。

改定案については、概ね了承された。

金城委員から、当該集計報告の公開の仕方について質問があり、増田議長およびがんセンター高橋さんから、本冊子、本協議会ホームページおよび「みるんしるん」ホームページにて公開する旨、発言があった。

那覇市立病院 足立氏(16号委員 朝倉委員の代理出席)から、UICC TNM(TNM 悪性腫瘍の分類)について質問があり、増田議長および高橋さんから、8版である旨、発言があった。その後、6版である旨、訂正された。

松村委員から、国会図書館への納本についての質問があり、増田議長から、納本について検討したい旨発言があった。

那覇市立病院 足立氏(16号委員 朝倉委員の代理出席)から、肺がん、脳、骨転移の詳細集計について、原発と転移の数字が混ざらないよう注意が必要である旨、発言があり、増田議長および高橋さんから、原発と転移の数字が混ざることはない旨、発言があった。

3. 平成29年度の協議会・幹事会の開催日時について

増田議長から、資料7に基づき、第4回協議会の開催日について、日程を変更し、1週間ずらして開催したい旨、説明があった。

4. 平成29年度第3回沖縄県がん診療連携協議会議題調整について

増田議長から、資料8に基づき、本幹事会での検討を踏まえて協議会へ審議提案する旨説明があり、了承された。

5. その他 特になし

報告事項

1. **がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の受講率について**
増田議長から、資料9に基づき、拠点病院3病院におけるがん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の受講率について報告があった。
2. **「大腸がん激減プロジェクト（仮称）」の活動について**
増田議長から、資料10に基づき、報告があった。
3. **沖縄県がん患者等支援事業の活動報告について**
増田議長から、資料11に基づき、県委託事業2018年版地域の療養情報おきなわがんサポートハンドブックの2017年度版からの主な変更案、骨子案およびがん専門医に学ぶ 医師とのコミュニケーション実施報告書について報告があった。
4. **沖縄県地域統括相談支援センターの活動報告について**
増田議長から、資料12に基づき、地域統括相談支援センター相談件数統計（H29年7月～9月）および平成29年度がんピアサポーター養成講座開催報告について報告があった。
なお、石垣市での開催の要望があるので、今後沖縄県と調整したい旨、発言があった。
5. **厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 予防接種基本方針部会）（第19回）**
増田議長から、資料13に基づき報告があった。なお、詳細については厚生労働省のホームページにて各自確認いただきたい旨、発言があった。
6. **厚生科学審議会（予防接種・ワクチン分科会 副反応検討部会）（第27回、第28回、第29回、第30回）**
増田議長から、資料14に基づき報告があった。なお、認知行動療法的アプローチについては各自確認するよう発言があった。
7. **がんゲノム医療推進コンソーシアム懇談会 報告書**
増田議長から、資料15に基づき、報告書および概要について報告があった。なお、添付資料についての詳細は各自確認いただきたい旨、発言があった。
8. **がん等における緩和ケアの更なる推進に関する検討会（第7回）**
増田議長から、資料16に基づき、当該検討会、緩和ケア研修会の開催指針の改正案および今後検討すべき課題について報告があった。なお、緩和ケア研修会について、今年度中に新しい指針が出る予定である旨、発言があった。
9. **職域におけるがん検診に関するワーキンググループ（第1回、第2回、第3回）**
増田議長から、資料17に基づき、報告があった。なお、職域検診も含め、ある程度骨子ができている旨、発言があった。
10. **がん診療提供体制のあり方に関する検討会（第9回）**
増田議長から、資料18に基づき、報告があった。なお、がん情報サービスにおいて、希少がんについてはより具体的な症例数を明示する検討がされている旨、発言があった。
11. **がん診療連携拠点病院等の指定要件に関するワーキンググループ（第1回）**
増田議長から、資料19に基づき、報告があった。
12. **がんゲノム医療中核拠点病院（仮称）等の指定要件に関するサブワーキンググループ（第1回、第2回）**

増田議長から、資料 20 に基づき、報告があった。

13. がん教育について（文部科学省 初等中等教育局健康教育・食育課より）

増田議長から、資料 21 に基づき、報告があった。なお、対応については、医療者および患者等は必要に応じアドバイザーとして関わることはあるが、基本的には、各学校の保健体育教員（一部養護教員）が行うことが予定されている旨、発言があった。

部会報告事項

1. 緩和ケア部会

報告なし

2. がん政策部会

増田議長から、席上配布された資料 23 に基づき、報告があった。

3. がん登録部会

増田議長から、資料 24 に基づき、報告があった。

4. 研修部会

報告なし

5. 相談支援部会

増田議長から、資料 26 に基づき、報告があった。

6. 地域ネットワーク部会

報告なし

7. 普及啓発部会

増田議長から、資料 27 に基づき、報告があった。

その他

那覇市立病院 足立氏(16号委員 朝倉委員の代理出席)から、次のような発言があった。

・放射線専門医の立場から、集学的治療として標準治療となっている放射線治療が行われていない現状について、特に治療成績が悪い肺がんについてどのようにしていくか、苦慮しているところである。

・拠点病院の質について、放射線治療装置は、機種により性能に大きな差があるため、放射線治療装置に対してある程度基準を設ける必要があるのではないかと感じている。

・放射線治療の均てん化については、放射線治療医が多くの病院に分散しているので、均てん化ではなく分散化しているのではないかと懸念しているが、このような状況においては、放射線治療に関して、放射線医等が相談・連携して治療をすすめていくしかないと考えている。前立腺がんについては、IMRT で根治が可能なため、沖縄県内で治療装置を備えている病院のどの病院で治療を受けても、同じ範囲、同じ量、同じように治療を受けられる最低ラインを設定し、治療を行っている。他のがんでも同様にできれば、ある程度の均てん化になるのではないかと。